



KAWA·BIZ·NET

世界の水環境改善に向けて

ベトナムにおける取組紹介

2026年2月20日

川崎市上下水道局経営戦略・危機管理室

〔国際事業推進〕

① バリアブントウ省における水環境改善に向けた取組

概要

川崎市とかわさき水ビジネスネットワーク(かわBizネット)会員企業がバリアブントウ省における水環境改善に向けて、上水道分野および下水道分野の調査を実施。川崎市は、上下水道分野の政策・技術面でアドバイスを行う。

内容

- 川崎市とかわBizネット会員企業が第1次および第2次官民共同ニーズ調査を実施(H26.5、H26.8)
- かわBizネット会員企業が厚生労働省「平成26年度 水道分野海外水ビジネス官民連携型案件発掘形成事業」(H26.10～H27.3)及び国土交通省「本邦下水道技術普及方策検討業務」(H27.10～H28.3)を受注しコンダオ県で水ビジネス案件形成に向けた調査を川崎市と共に実施
- (株)ベルテクノがJICA「中小企業・SDGsビジネス支援事業～案件化調査(中小企業支援型)～」(R4.3～R5.8)に採択(H30)され、外部人材として川崎市も協力



<現地セミナーの様子>



<本邦研修の様子>

背景

- バリアブントウ省と川崎市の間で経済産業交流の覚書を締結(H24.9)
- かわBizネットがバリアブントウ省セミナーを開催し同省の水環境について情報交換(H26.2)

過程

- 平成26年2月 かわBizネットによるバリアブントウ省セミナーの開催
- 平成26年5月 かわBizネット会員企業と川崎市が協力して調査を実施(~H28.3)
- 令和4年3月 かわBizネット会員企業と川崎市が案件化調査を実施(~R5.8)

① バリアブントウ省における水環境改善に向けた取組



出典：調査団作成

【バリア・ブントウ省及びコン・ダオ県位置】

① バリアブントウ省における水環境改善に向けた取組



① バリアブントウ省における水環境改善に向けた取組

コン・ダオ県2030年までの総合建設計画（ベトナム国首相決定）

	2005年	2020年	2030年		2020年	2030年
人口 (住民)	—	13,000~ 15,000	20,000	年間 訪問人数	150,000~ 200,000	250,000~ 300,000
人口 (訪問客換算)	—	5,000~ 7,000	10,000	うち 外国人	15% (22,500~ 30,000)	15~20% (37,500~ 60,000)
計 (人)	5,129	20,000	30,000			



水道の現状と将来計画

- ✓ 水源が乏しく、ほとんどを雨水に依存
- ✓ 雨水ため池の周囲にある井戸から取水
- ✓ 中心地区にあるコン・ダオ浄水場の能力は 3,500m³/日。更に1,080m³/日を拡張中
- ✓ コン・ダオ浄水場から中心地区(自然流下)、コ・オン地区、ベン・ダム地区(いずれも14km圧送)の3地区に供給
- ✓ 水は非飲用。現在の普及率はほぼ100%
- ✓ 管内スケールが酷く、頻繁に高濃度塩素で洗浄
- 水需要は2020年: 5,000m³/日、2030年: 9,000~10,000m³/日に増加予定
- 将来の水源は貯水池の雨水か海水淡水化
- 今後離島も含め雨水貯水池を建設、水資源の有効利用、再利用を検討



雨水貯水池

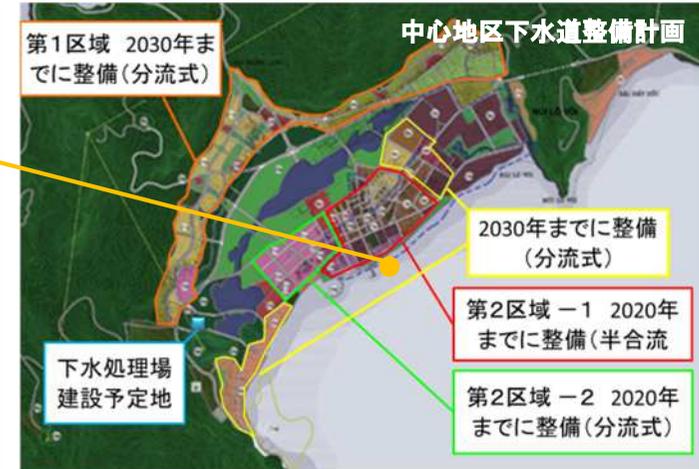


コン・ダオ浄水場

① バリアブントウ省における水環境改善に向けた取組

下水道の現状と将来計画

- ✓ 現在汚水は建物地下のセプティック・タンクで処理し地下浸透
 - ✓ 中心地区の生活雑排水は雨水と共に海へ放流
-
- 2020年に1,000m³/日、2030年に3,300m³/日の下水道を整備
 - 処理水はため池への放流を計画



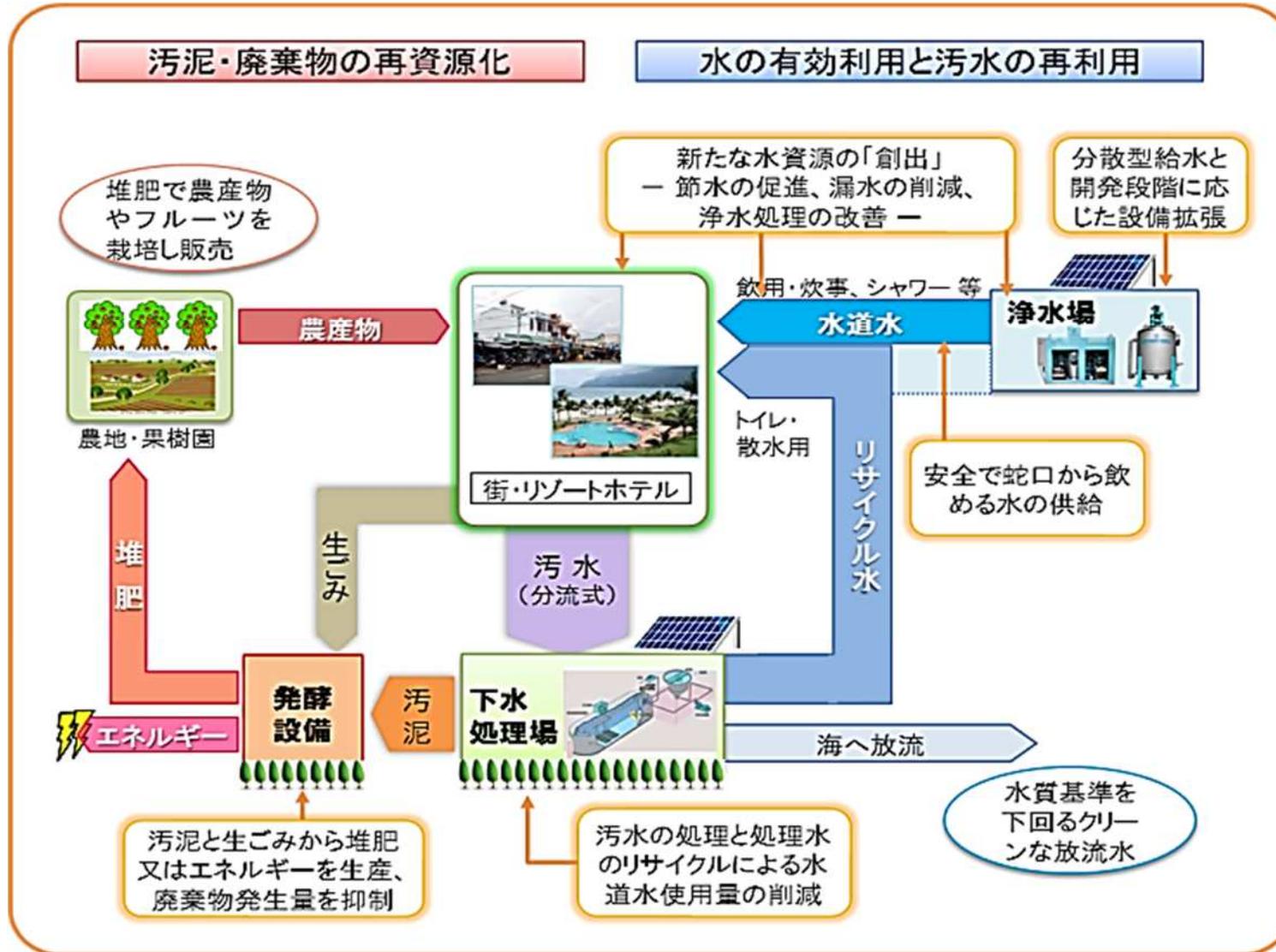
廃棄物の現状と将来計画

- ✓ 廃棄物の排出量は10t/日
 - ✓ 全量を暫定処分場に野積み
 - ✓ 暫定処分場からは未処理の黒い浸出水が海へ向かって流出
-
- 2025年度の排出量は44t/日。焼却施設を建設予定
 - 分別収集と生ごみの肥料化構想あり



① バリアブントウ省における水環境改善に向けた取組

環境に配慮した持続可能な開発を行うため、水の有効利用と汚水の再利用及び汚泥の再資源化を図るコン・ダオ県水環境インフラ事業を提案



「コン・ダオ県水環境インフラ事業」イメージ図

※出典：ベトナム国バリア・ブントウ省コン・ダオ県における水ビジネス官民連携型案件発掘形成事業報告書

②JICA／中小企業・SDGsビジネス支援事業

事業名	ベトナム国 高効率・環境配慮型下水汚泥濃縮・脱水装置導入に向けたニーズ確認調査
実施体制	(株)研電社、川崎市上下水道局
調査内容	ベトナム国における課題である下水汚泥の効率的な処理に向けて、当該製品(固液分離機)のみならず汚泥の有効利用(コンポスト化やバイオガス発電に関する需要量など)も検討し、今後、他企業の技術を組み合わせたパッケージで導入などのビジネス展開を検討する。
実施期間	2023年7月～2024年3月(8か月)



Vung Tau 下水処理場



Pho My3工業団地 排水処理施設



ホーチミン下水道公社



ダナン下水道公社

③環境省／「令和6年度アジア水環境改善モデル事業」(ダナン市)

事業名	ベトナム国ダナン市における有機汚泥減容化装置の導入による公共用水域の水環境改善事業
実施体制	日本ミクニヤ(株)+川崎市上下水道局+京都大学
事業内容	ベトナム国ダナン市の埋立最終処分場において、有機汚泥の減容化及びバイオマス資源化による水質改善効果の確認(浸出水及び周辺河川水質測定)を行いながら、本提案技術の事業効果を検証する。
実施期間	2023年7月～2026年3月(3年間)



埋立処分場からの浸出水流出箇所



現地ワークショップの様子
(2025年1月)



有機汚泥減容化装置「ミシマックス」



減容化した有機廃棄物